

平成25年度 入学試験問題

看護科学域博士前期課程：専門科目

試験時間 14：30～16：00 90分間

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は3ページである（表紙を除く）。
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答用紙の所定の記入欄には、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入すること。
5. 解答は、10領域中2領域について必答とする。まず、各自が専攻する専門領域を選択して、その問題について解答しなさい。
さらに、他の領域から一領域を選択して、その問題について解答しなさい。
6. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了まで退室してはいけない。
8. 解答用紙は必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

1. 母性看護学領域

女性における健康課題について、思春期、性成熟期、更年期の中から一つ選び、具体的な課題をあげ、その課題について助産師として、予防という視点からの対応について具体的に述べなさい。

解答にあたっては、どの時期の健康課題であるかを最初に明記しなさい。

2. 小児看護学領域

次の文章は、日本看護協会が募集した『第2回忘れられない看護エピソード』の一般部門に入選した柿本清美さんの「優しい魔法」という文章の一部です。これを読んで、下記の問いに答えなさい。

五歳の次男が心臓の手術を受けることになった。初体験の入院に興奮気味の次男は親の心配などつゆ知らず、柵付きベッドによじ登り、制止など聞かずに病棟を走り回る。その背中に「こらあ！廊下は走らない！」と看護師さんの声が響く。なんともにぎやかな入院生活の幕開けとなった。

ところが、こんなに腕白な次男でも、さすがに手術の前日ともなると急に無口になり、看護師さんが手術着のサイズを合わせに来てくれたり、スケジュールの説明に来てくれたりするたびに無理なことと言って困らせたり、甘えてみたり、すねてみたり。私もすっかり手をこまねいて見ているだけになってしまった。

そんな次男の様子を心配して、一人の看護師さんが現れた。手には「たんけんちず」と書かれた紙とシールが握られている。「よし、今から広い病院の中を探検しに行こう」。

次男は『探検』という言葉にパッと目を輝かせると「行く！」とベッドから跳び降りた。「じゃあ明日、恭ちゃんの身体に魔法をかけてくれる、手術室やICUがどこにあるか探しに行きまあす。見つけたら探検地図にシールを貼っていくよ」

そう言うと看護師さんは「しばらくお預かりします」と私に頭を下げ、次男とともに探検に出発した。そして数十分後、次男は飛び切りの笑顔で戻ってきた。看護師さんの機転のきいたアイデアが、次男の硬くなった心を解きほぐしてくれたのだ。

手術当日。次男は自分の足でしっかりと歩き「こっちやで」と、手術室まで私たちを先導してくれた。その上、別れ際には笑顔で手まで振ってみせ、かえって私たちの胸を締めつけた。

みんなに優しい魔法をかけられた次男は、今、元気いっぱい走り回り、春の入学を心待ちにしている。

(<http://www.nurse.or.jp/home/event/simin/episode/pdf/02i-10.pdf> 日本看護協会ホームページより引用)

この文章の中で、手術を受ける5歳の男の子の母親である柿本さんが「優しい魔法」と言っている小児看護の技術について、(どのようなものか、目的は何か、実施の際に配慮することなどを)説明しなさい。

また、実際に自分がそのような技術を実施した経験があれば、そのときの状況について、意味付けおよび評価などを含めて記述しなさい。(字数は問わないが、解答用紙表面1枚に収まるように記述すること。)

3. 成人看護学領域

高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの質の向上を目指して、近年、専門看護師、認定看護師、認定看護管理者という資格ができました。これらの資格認定制度によって、特定の看護専門分野の知識、及び技術を用いた看護実践の提供が進められています。以上の現状を踏まえて、次の質問に答えなさい。

- 問1. 特定の看護専門分野の一つを挙げ、その分野の専門性について具体的に述べなさい。専門看護師、認定看護師、認定看護管理者のいずれの特定分野でも構いません。
- 問2. 問1で取り上げた特定分野の専門家が臨床現場で活動することの意義と課題について、具体例を挙げつつ、あなたの考えを論じなさい。

4. 高齢者看護学領域

高齢者の薬物療法について以下の質問に答えなさい。

- 問1. 高齢者に有害事象を起こしやすい薬剤と有害事象について例を挙げて説明しなさい。
- 問2. 高齢者の多剤併用の原因と弊害について述べなさい。
- 問3. 高齢者の服薬管理のポイントについて述べなさい。

5. 在宅看護学領域

退院支援は、退院計画をスムーズに遂行できるよう、病院全体で責任をもって多職種で行うチームアプローチであるといわれているが、近年では、退院支援は病院内にとどまらず、患者が療養する地域の在宅ケアシステムの一部として考えられるようになってきている。

- 問1. 下線のように考えられるようになってきた背景にはどのような理由があると考えられますか。具体的に説明しなさい。
- 問2. 地域のケアシステムの一部として退院支援をとらえるとき、看護の役割・機能として重要と思われる点について、あなたの考えを述べなさい。

6. 公衆衛生看護学領域

- 問1. 生活習慣の改善が必要な人々を対象とした行動変容を促す保健指導について、保健師に必要な技術とその理由を説明しなさい。
- 問2. 根拠に基づいた保健指導について、看護実践での具体的な事例を用いて説明しなさい。

7. 地域精神看護学領域

以下の1) から4) までの異常精神現象に相当する代表的な精神医学的症状を一つ取り上げ、症状の概要を記述しなさい。

- 1) 知覚の異常
- 2) 思考の異常
- 3) 気分の異常
- 4) 自我体験の異常

8. 地域看護活動評価論領域

地域における看護過程の各段階に有効な疫学的方法の選択について、考えるところを述べなさい。

9. 看護倫理学領域

インフォームド・コンセント (informed consent) における看護師の重要な関わりとして、看護者の倫理綱領 (日本看護協会, 2003) 第4条に「看護者は、人々の知る権利及び自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護する」とあります。

上記の「人々の知る権利」及び「自己決定の権利」を擁護するとは具体的にどういうことか、行動レベルで論じなさい。

10. 看護管理学領域

医療の質を担保する上で看護職員の量的確保は非常に重要な課題となっています。第七次看護職員需給見通し (厚生労働省, 2010) では、平成 27 年において需要の方が供給を上回るという報告が出されています。こうした状況を踏まえ、看護師確保対策の推進について2つ以上の改善策を挙げ、論じなさい。